

## 外国語学部の教員の養成の目標

### <外国語学部 外国語学科>

外国語学部外国語学科では、外国語を使って自分自身を世界に向けて発信できる能力を持ち、世界を視野に入れて活躍できる「外国語のプロフェッショナル」の育成を目指している。この目標の実現のためには、高度な外国語コミュニケーション能力はもちろんのこと、異文化への理解と多文化共生力、問題解決力、多面的思考力、批判的能力を育むことも重要である。このような教育理念のもと、本学部では次の3つを兼ね備えた教員を養成する。

- (1) 幅広い教養に裏打ちされた専門的知識・技能を修得するとともに、主専攻言語である英語・中国語及び日本語（留学生対象）、さらにはプラスワン・副専攻言語の卓越した運用能力を身に付け、それらを総合的に活用することができる技能
- (2) 外国語教育に関連する専門領域についての知識と技能を活用し、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献することができる能力
- (3) 自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組み、「外国語のプロフェッショナル」として、世界の状況を適切に把握し、日本の立場を世界に向けて発信することができる主体的な態度

さらに、上記3つの資質・能力を基盤として、教科及び教職に関する体系的な教職課程カリキュラムの履修を通じて、教科指導及び生徒指導等における実践的指導力並びにそれらを下支えする強い使命感、教育的愛情、コミュニケーション力等、教師に求められる人格と力量を兼ね備える、豊かな感性と個性を持った教員を養成する。

(外国語学部 外国語学科 中一種免 英語)

基礎となる学部専門教育においては、「外国語のプロフェッショナル」を育成するカリキュラムを編成している。「外国語のプロフェッショナル」とは、次の要素からなる。

- (1) 活力ある社会をこれからも維持していくことを目指し、従来の考え方や内輪の論理に拘泥されることがない
- (2) 広く国際社会と交わりながら新しい考え方や外の論理を積極的に取り入れつつ、それらを自らの文脈に合わせて取捨選択し、そこから独自の視点を創造していける
- (3) 外国語の高度な能力を駆使し、あるいはコトバとその関連分野の知識を武器にして、人と人とのつながりを促進し、国際社会において異文化間の橋渡しができる

具体的なカリキュラムとしては、初年次から主専攻言語として英語又は中国語の外国語言語運用能力の徹底的な伸長を図る。さらに2年次では必修の「スタディ・アブロード」と称する一年間の海外留学を通じて「生きる力」の涵養と外国語運用能力の飛躍的な伸長を目指す。このように、自文化と異文化理解を通じた多面的思考力と問題解決能力の育成を図ったうえで、言語分析、言語教育、異文化コミュニケーション、通訳・翻訳、地域文化、国際協力等の外国語教育に関連する専門領域の科目履修を通して、それぞれの言語が話される文化圏や異文化接触・交渉に関する深い洞察力と、言葉の仕組みや習得の仕組み、通訳翻訳の理論や方法に対する高い見識と理解を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めているのが本学部の学生である。そして中学校「英語」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、次の5点を重視しながら教員を養成する。

- (1) 外国語（英語）の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語（英語）で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う
- (3) 外国語（英語）の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語（英語）を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うなど、外国語（英語）によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができるようにする
- (4) 外国語（英語）による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケー

- ションを図る資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を身につけるようにする
- (5) 総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮することができる力を養う

(外国語学部 外国語学科 高一種免 英語)

基礎となる学部専門教育においては、「外国語のプロフェッショナル」を育成するカリキュラムを編成している。「外国語のプロフェッショナル」とは、次の要素からなる。

- (1) 活力ある社会をこれからも維持していくことを目指し、従来の考え方や内輪の論理に拘泥されることがない
- (2) 広く国際社会と交わりながら新しい考え方や外の論理を積極的に取り入れつつ、それらを自らの文脈に合わせて取捨選択し、そこから独自の視点を創造していける
- (3) 外国語の高度な能力を駆使し、あるいはコトバとその関連分野の知識を武器にして、人と人とのつながりを促進し、国際社会において異文化間の橋渡しができる

具体的なカリキュラムとしては、初年次から主専攻言語として英語又は中国語の外国語言語運用能力の徹底的な伸長を図る。さらに2年次では必修の「スタディ・アブロード」と称する一年間の海外留学を通じて「生きる力」の涵養と外国語運用能力の飛躍的な伸長を目指す。このように、自文化と異文化理解を通じた多面的思考力と問題解決能力の育成を図ったうえで、言語分析、言語教育、異文化コミュニケーション、通訳・翻訳、地域文化、国際協力等の外国語教育に関連する専門領域の科目履修を通して、それぞれの言語が話される文化圏や異文化接触・交渉に関する深い洞察力と、言葉の仕組みや習得の仕組み、通訳翻訳の理論や方法に対する高い見識と理解を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めているのが本学部の学生である。そして高等学校「英語」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、次の5点を重視しながら教員を養成する。

- (1) 外国語（英語）の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語（英語）で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う
- (3) 外国語（英語）の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語（英語）を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うなど、外国語（英語）によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができるようにする

- (4) 外国語（英語）による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を身につけるようにする
- (5) 総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮することができる力を養う

(外国語学部 外国語学科 中一種免 中国語)

基礎となる学部専門教育においては、「外国語のプロフェッショナル」を育成するカリキュラムを編成している。「外国語のプロフェッショナル」とは、次の要素からなる。

- (1) 活力ある社会をこれからも維持していくことを目指し、従来の考え方や内輪の論理に拘泥されることがない
- (2) 広く国際社会と交わりながら新しい考え方や外の論理を積極的に取り入れつつ、それらを自らの文脈に合わせて取捨選択し、そこから独自の視点を創造していける
- (3) 外国語の高度な能力を駆使し、あるいはコトバとその関連分野の知識を武器にして、人と人とのつながりを促進し、国際社会において異文化間の橋渡しのできる

具体的なカリキュラムとしては、初年次から主専攻言語として英語又は中国語の外国語言語運用能力の徹底的な伸長を図る。さらに2年次では必修の「スタディ・アブロード」と称する一年間の海外留学を通じて「生きる力」の涵養と外国語運用能力の飛躍的な伸長を目指す。このように、自文化と異文化理解を通じた多面的思考力と問題解決能力の育成を図ったうえで、言語分析、言語教育、異文化コミュニケーション、通訳・翻訳、地域文化、国際協力等の外国語教育に関連する専門領域の科目履修を通して、それぞれの言語が話される文化圏や異文化接触・交渉に関する深い洞察力と、言葉の仕組みや習得の仕組み、通訳翻訳の理論や方法に対する高い見識と理解を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めているのが本学部の学生である。そして中学校「中国語」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、次の5点を重視しながら教員を養成する。

- (1) 外国語（中国語）の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語（中国語）で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う
- (3) 外国語（中国語）の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語（中国語）を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うなど、外国語（中国語）によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができるようにする
- (4) 外国語（中国語）による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケ

ーションを図る資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を身につけるようにする

- (5) 総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮することができる力を養う

(外国語学部 外国語学科 高一種免 中国語)

基礎となる学部専門教育においては、「外国語のプロフェッショナル」を育成するカリキュラムを編成している。「外国語のプロフェッショナル」とは、次の要素からなる。

- (1) 活力ある社会をこれからも維持していくことを目指し、従来の考え方や内輪の論理に拘泥されることがない
- (2) 広く国際社会と交わりながら新しい考え方や外の論理を積極的に取り入れつつ、それらを自らの文脈に合わせて取捨選択し、そこから独自の視点を創造していける
- (3) 外国語の高度な能力を駆使し、あるいはコトバとその関連分野の知識を武器にして、人と人とのつながりを促進し、国際社会において異文化間の橋渡しできる

具体的なカリキュラムとしては、初年次から主専攻言語として英語又は中国語の外国語言語運用能力の徹底的な伸長を図る。さらに2年次では必修の「スタディ・アブロード」と称する一年間の海外留学を通じて「生きる力」の涵養と外国語運用能力の飛躍的な伸長を目指す。このように、自文化と異文化理解を通じた多面的思考力と問題解決能力の育成を図ったうえで、言語分析、言語教育、異文化コミュニケーション、通訳・翻訳、地域文化、国際協力等の外国語教育に関連する専門領域の科目履修を通して、それぞれの言語が話される文化圏や異文化接触・交渉に関する深い洞察力と、言葉の仕組みや習得の仕組み、通訳翻訳の理論や方法に対する高い見識と理解を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めているのが本学部の学生である。そして高等学校「中国語」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、次の5点を重視しながら教員を養成する。

- (1) 外国語（中国語）の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語（中国語）で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う
- (3) 外国語（中国語）の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語（中国語）を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うなど、外国語（中国語）によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができるようにする



- (4) 外国語（中国語）による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を身につけるようにする
- (5) 総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮することができる力を養う